

記者発表資料

点検支援技術（新技術）活用講習会を開催します ～ 道路施設の点検で新技術の活用を目指して ～

「山梨県道路メンテナンス会議」は、県内の道路管理者を構成メンバーとし、道路施設の維持管理等の情報共有や調整を実施するため、平成26年5月28日に設立されたもので、取り組みの一環として、関係者の技術力の向上を図るため、過去から各種講習会などを開催してきたところであります。

今般、道路施設の点検において、点検支援技術（新技術）の活用を図るため、平成31年2月に「新技術利用のガイドライン（案）」等が国土交通省より出されたものであり、そのため、今回「新技術利用のガイドライン（案）」の説明や「点検支援技術性能カタログ（案）」に掲載されている一部技術について現場で実演する講習会を下記のとおり開催するものです。

記

日時：令和2年2月7日(金) 13:15～
場所：○座学：「LAZA WALK」2F多目的ホール
（甲斐市志田^{かいししだ}字^{あざ}柿木645-1番地）

○現場講習：国道20号塩川大橋

内容：○座学：「新技術利用のガイドライン（案）」「点検支援技術性能カタログ（案）」の説明等
○現場講習：新技術の実演（実演技術は別紙-2参照）

報道機関の皆様へ

・取材を希望される方は、2月6日（木）17時までに、別紙-3の「取材登録書」をFAXにて送付していただくようお願いいたします。

山梨県道路メンテナンス会議

国土交通省 甲府河川国道事務所、山梨県、中日本高速道路（株）八王子支社
山梨県内27市町村、山梨県道路公社、（公社）山梨県建設技術センター

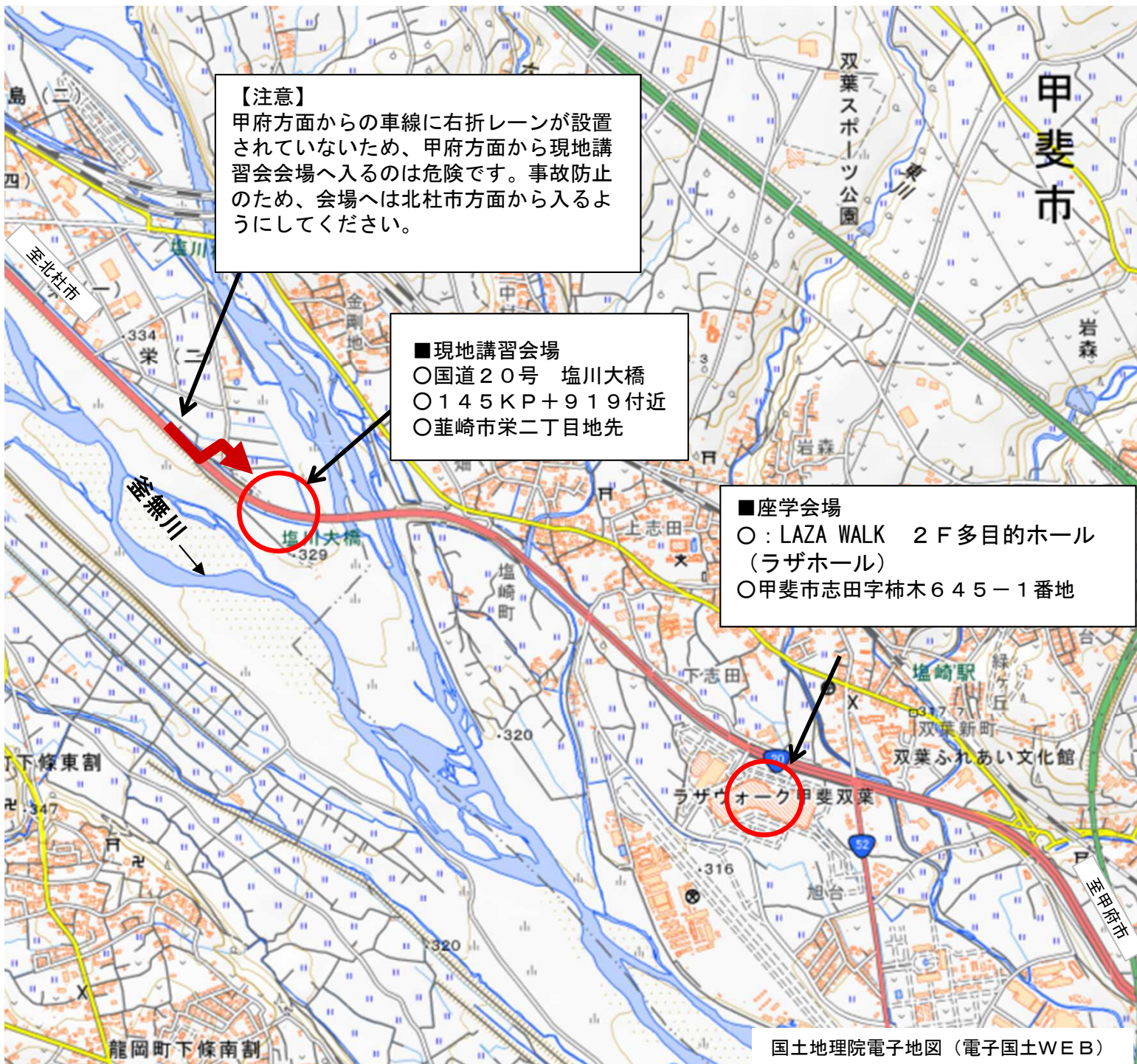
発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所 TEL：055-252-5491（代表）
○副所長 松澤 尚利（まつざわ なおとし）
○保全対策官 隅田 成朗（すみだ なりあき）
山梨県国土整備部 道路管理課 道路施設維持担当 TEL：055-223-1696
○課長補佐 鈴木 賢一（すずき けんいち）
○副主幹 佐藤 勉（さとう つとむ）

会場案内図



実演点検支援技術 一覧表(予定)

	分類	名称	開発者、共同開発者	技術概要	概略図
①	画像計測技術 (橋梁等)	橋梁等構造物の点検ロボット	三井住友建設 (株)、(株)日立産 業制御ソリューションズ	点検ロボットカメラの向き、倍率、 撮影等を、操作端末(タブレットP C)から遠隔操作して、点検作業を 行う機器。 操作端末には、クラックスケー ル、L型スケールを表示することが でき、損傷の大きさを定量的に計 測が可能。	<p>■性能カタログ(案)P36掲載</p> <p>懸垂型および高所型を用いた点検</p>
②	非破壊検査技術 (橋梁等)	コンクリート構造物変状部検 知システム「BLUE DOCT OR」	(株)オルガンエンジ ニアリング	橋梁等のコンクリート構造物の浮 き、剥離の有無、深さを検知する 可能な技術。又、浮き、剥離個所 にはマーキングも可能。	<p>■性能カタログ(案)P78掲載</p> <p>外形寸法:128x137x92mm ブルドクター (1ユニット) 電磁ハンマ 磁歪センサ</p>

※この一覧表の内容については、「点検支援技術性能カタログ(案)」(平成31年2月時点国土交通省)から転記、加工したものです。

点検支援技術（新技術）活用講習会 取材登録書

FAX送信期限： 2月6日（木） 17：00まで

2月7日（金）の標記講習会につきまして、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

1. 報道機関名

2. 氏名等

氏名 (代表者のみ)	連絡先 (携帯電話等)	参加人数	車両台数	備考

※氏名は代表者の方、人数は代表者を含めた数をお書きください。

※取材時には警備の都合上、必ず腕章又は身分証明書を着用いただくようお願いします。

着用がない場合は、取材をご遠慮いただく場合があります。

※連絡先は、当日連絡可能な連絡先を記入して下さい。会議の中止・遅延等がある場合に連絡をさせていただきます。

※当日は、講習会開始（13：15）までにLAZA WALK 2F多目的ホールへ来場願います。

※会場では、担当者の指示に従ってください。

3. 送付先 (FAX) 055-252-0801

4. 問合せ先 国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所
保全対策官 隅田 成朗
電話 055-252-5491 (代表)